

## 施工業者様用

## 〈施工説明書〉

## 薄型シューズラック

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



## 警告

使用に際して以下の注意が守られない場合、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

・キャビネットに乗らない。

キャビネットが脱落する恐れがあるため、キャビネットには絶対に乗らないでください。

・はさまれ注意!

部材と部材のあいだに、体の一部が入っている状態で施工をすると、ケガをする場合がありますのでご注意ください。

・必ず同梱の金具を使用する。

同梱の金具で施工しなかった場合、商品が破損したり、落下、転落してケガをするおそれがあります。



## 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・土間直置き不可。

水に濡れると膨れや腐れが起こる可能性があります。

・ヒンジを分解しない。

扉取り付け用のヒンジを分解したり、無理に曲げたりすると、扉が脱落してケガの原因となりますので、絶対にしないでください。

・潤滑油・殺虫剤などのご使用に注意。

潤滑油や殺虫剤などが製品表面に付着すると膨れや変色が発生する恐れがあります。付着した場合は、速やかに拭き取って下さい。

・投光器やストーブなどの熱源に注意。

投光器やストーブなどの熱源が製品表面に長時間当たったり、近づけすぎると、熱による膨れや変色が発生する恐れがあります。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒドVOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒドVOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・確実にキャビネットと壁面を固定する。

キャビネットがあらかじめ間柱・補強材等の下地処理を施した壁面と固定されていないと、キャビネットが転倒してケガの原因となりますので、確実にキャビネットと壁面を固定してください。

・補強材を確実に固定する。

下地は鋼縁などの補強材もしくは12mm以上の合板を使用してください。下地が合板の場合はJAS規格品広葉樹合板以上の強度を有する厚み12mm以上を使用してください。

## 耐荷重について

※右記耐荷重以上の荷重をかけると、商品が破損したり転落したりし、怪我の原因となる恐れがありますのでご注意ください。

| 製品幅    | 製品高さ   | 耐荷重     |
|--------|--------|---------|
| 300タイプ | フロアタイプ | 全体で10kg |
|        | トールタイプ |         |
| 600タイプ | フロアタイプ | 全体で20kg |
|        | トールタイプ |         |

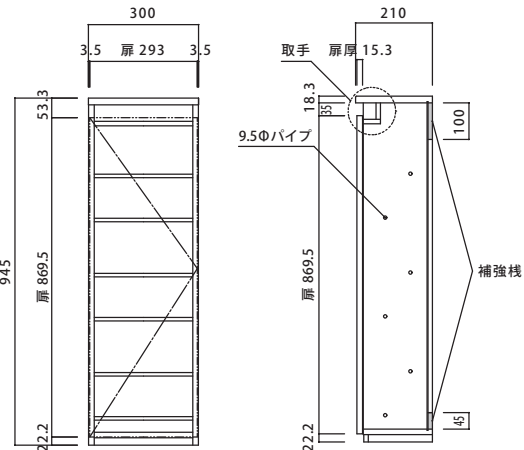
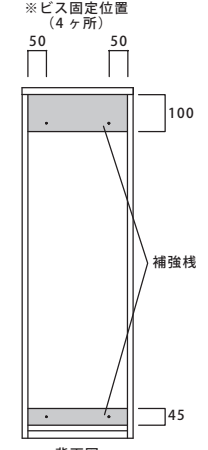
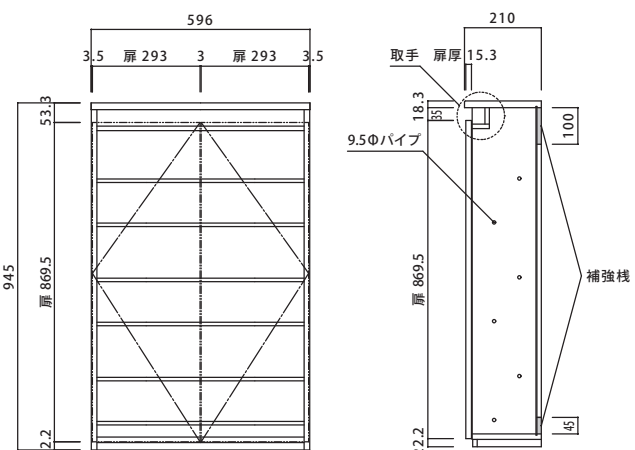
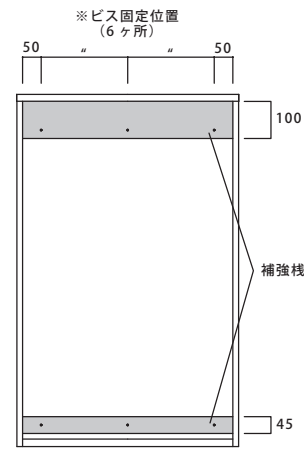
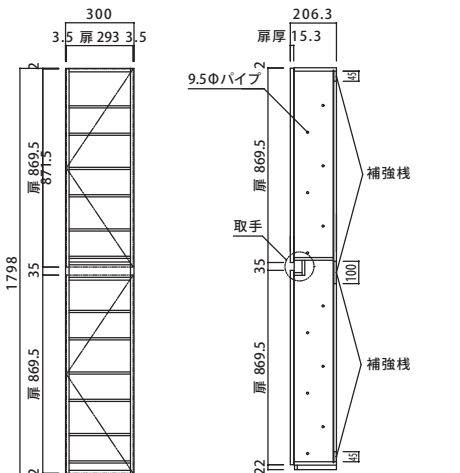
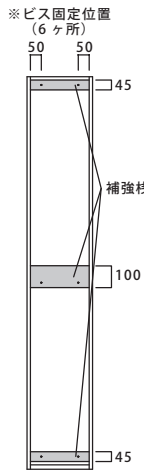
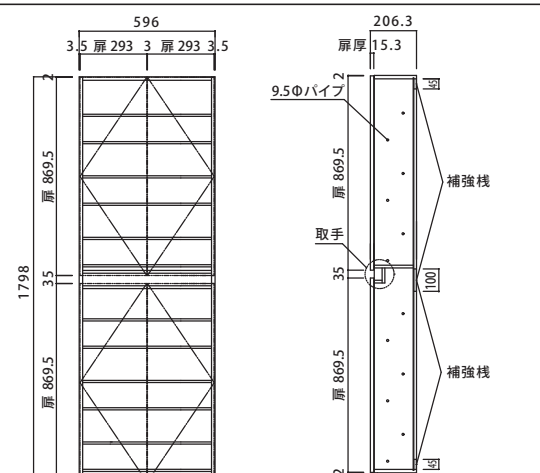
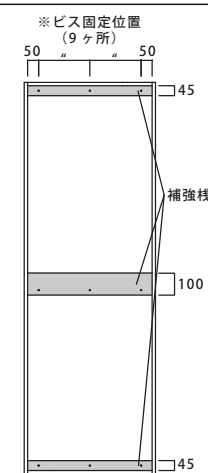
## 1. 部材の確認

梱包を解いたら、当製品に不足及び問題が無いかを確認してください。

製品に水濡れなど不具合があった場合は必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

## ■ 梱包内訳

| 製品幅                                                                                                         | 間口300    |          | 間口600    |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|
|                                                                                                             | フロアタイプ   | トールタイプ   | フロアタイプ   | トールタイプ   |
| 部材名                                                                                                         |          |          |          |          |
| 本体(扉取付済み)                                                                                                   | 1体 (扉1枚) | 1体 (扉2枚) | 1体 (扉2枚) | 1体 (扉4枚) |
| 補強材固定ビス(キャップ付き)  φ4.2×65 | 4本       | 6本       | 6本       | 9本       |
| バンボン                                                                                                        | 2個       | 4個       | 4個       | 8個       |

| 製品寸法        |                                                                                     | 補強棧とビス固定の位置(キャビネット裏側から見た図)                                                           |                                                  |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 間口300フロアタイプ |    |    | <div>補強棧1本あたり<br/>ビス2本×補強棧2本<br/>ビス本数 計4か所</div> |
|             |   |   | <div>補強棧1本あたり<br/>ビス3本×補強棧2本<br/>ビス本数 計6か所</div> |
| 間口300ツールタイプ |  |  | <div>補強棧1本あたり<br/>ビス2本×補強棧3本<br/>ビス本数 計6か所</div> |
|             |  |  | <div>補強棧1本あたり<br/>ビス3本×補強棧3本<br/>ビス本数 計9か所</div> |

## 2. 下地処理・下穴を開ける

キャビネットはビスで壁に固定します。  
キャビネットに荷物を入れても重量に耐えられるように取り付ける  
壁下地の補強処理を行ってください。  
補強が不十分だった場合、キャビネットが転落する恐れがあります。

### ⚠ 注意



必ずおこなう

下穴は●の位置に開けてください。

### ⚠ 注意



必ずおこなう

- ・補強材の位置に胴縁などの補強材または12mm以上の合板を設置し、下地処理を行ってください。
- ・下地が合板の場合はJAS規格品広葉樹合板以上の強度を有する厚み12mm以上の合板を使用してください。

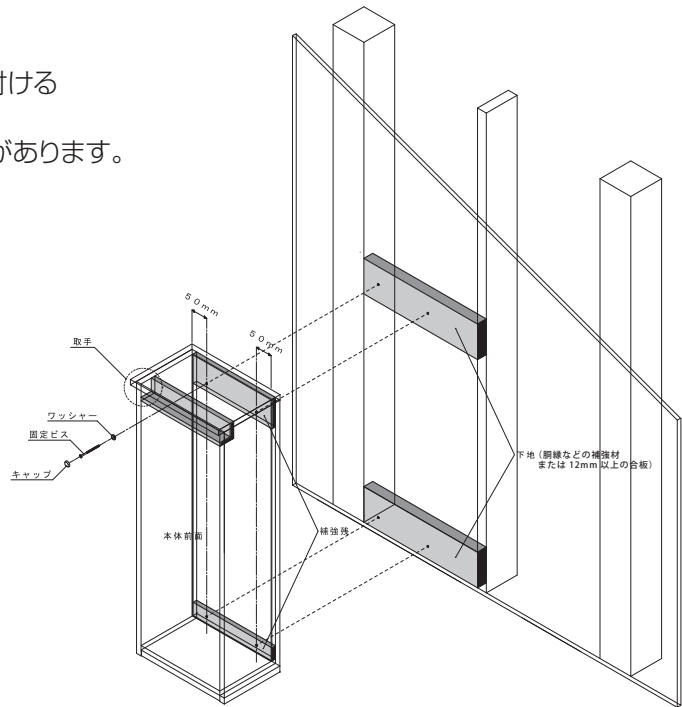
- ・キャビネット本体裏側に補強材が入っています。
- ・補強材がある位置に下穴を開けてください。

### ⚠ 注意



必ずおこなう

- ・脱着防止のためビス固定は必ず補強材にしてください。
- ・割れ防止のため下穴は端から50mm以上内側に開けてください。
- ・ビスは必ず指定の本数打ってください。



※本体ビス固定の際には、必ず補強材（前面内部からは見えません）の位置を確認してください。取手が前方にある部分ではビス固定の際、インパクトドライバー等のヘッドが取手に干渉する場合がありますので注意して施工してください。ビスが垂直に施工されていない場合、キャップがはまらない、本体と壁に隙間が生じるなど不具合が生じる恐れがありますので確実に取り付けてください。

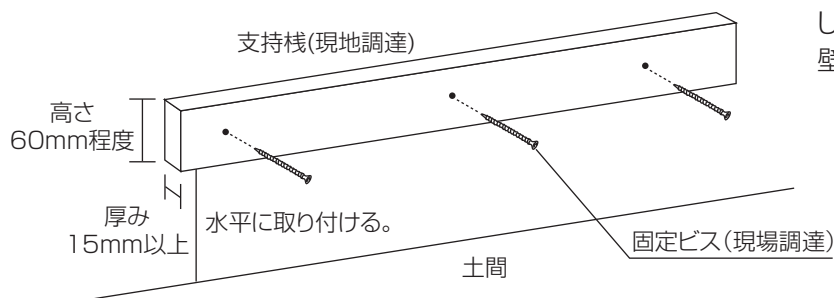
## 3. 壁面への固定

同梱のビス、ワッシャーを下穴に打ち込んでください。

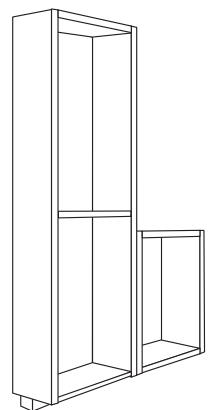
### ■ フロート施工の場合

キャビネット本体を床から浮かせて施工する場合は、支持材（厚み15mm以上、現場調達）をキャビネット下の壁面に固定してください。固定が十分でなかった場合、キャビネットが脱落する恐れがあります。

- ① 支持材の水平を確認し、  
ビスで壁面に固定してください。



- ② キャビネットを支持材の  
上に乗せ、下地を施工  
した場所へキャビネットを  
壁にビス固定してください。



## 施工終了後

### ■ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

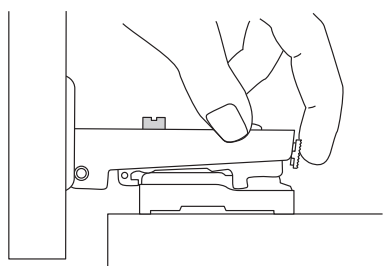
### ■ お手入れのしかた

汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対にしないでください。

## 扉の取り付け

扉は左右兼用ですので、金具を取り外して右吊りに変更することができます。

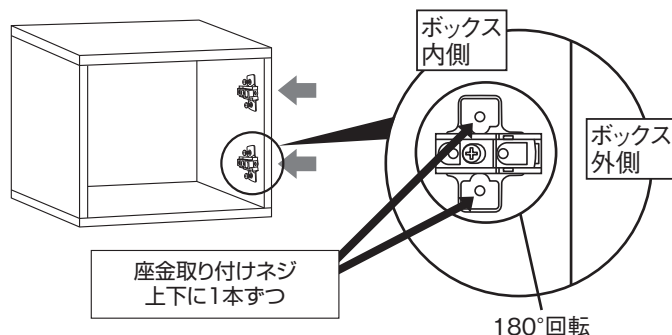
①ヒンジを座金から取り外します。



ヒンジ奥側のボタンを押しながら  
手前に引きながら外す。

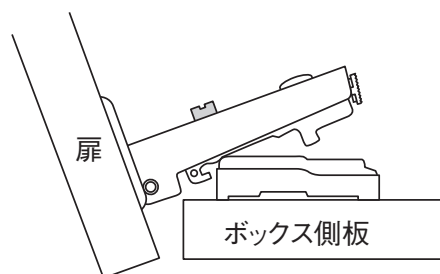
②座金取り付けネジ2つを取り外します。

③右側の側板に座金を取り付け、ネジを締めてください

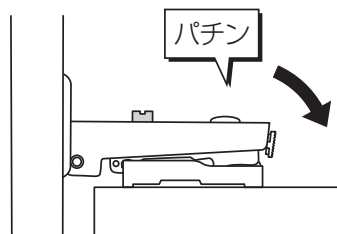


④扉を返し、ヒンジを座金に取り付けます。

(1) 扉側の丁番のツメを座金にひっかける



(2) ツメをひっ付けた状態で後方部を押さえ、  
パチンと音が鳴るまでしっかりとめる。



⚠ 注意



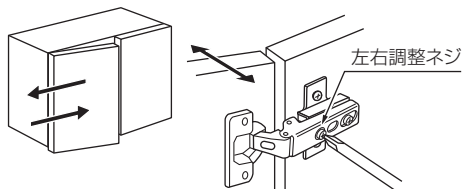
禁止

無理な脱着は、  
部品破損原因  
になります。

## 扉の調整(スライドヒンジの調整)

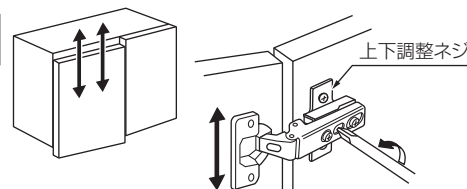
扉の左右調整

左右調整ネジを  
回して左右調整を  
してください



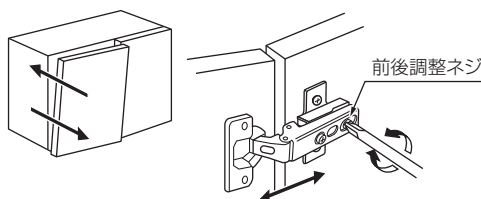
扉の上下調整

上下調整ネジを  
回して上下調整を  
してください



扉の前後調整

前後調整ネジを  
回して前後調整を  
してください



⚠ 注意



禁止

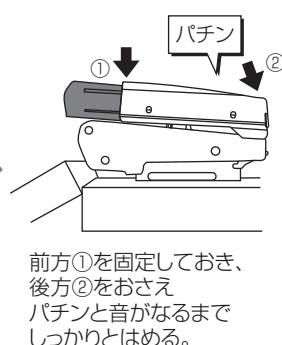
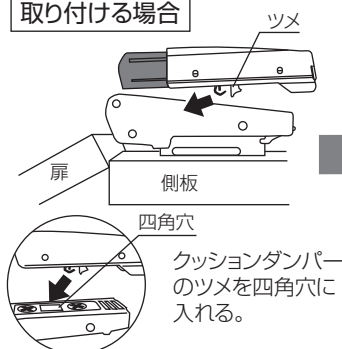
調整ネジの調整はインパクトドライバーを  
使用しないでください。

調整ネジの破損の原因になりますので必ず手締め  
のドライバーで調整してください。

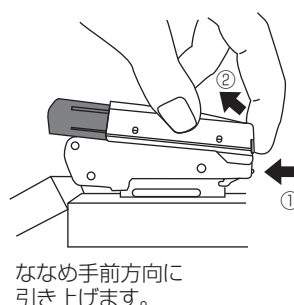
## オプション部材

### ■クッションダンパーの着脱

取り付ける場合



取りはずす場合



クッションダンパー  
品番:ZY1395  
設計価格:500円  
(税抜き/2021年4月)

⚠ 注意



禁止

無理な脱着は、  
部品破損原因  
になります。